

## 同意案第 2 号

### 名誉市民の選定について

次の者を令和 5 年 3 月 28 日付けをもって本市の名誉市民として選定したいので、八幡浜市名誉市民条例（平成 17 年条例第 5 号）第 3 条の規定に基づき、議会の同意を求める。

令和 4 年 1 2 月 6 日提出

八幡浜市長 大 城 一 郎

### 記

生前居住地 松山市 XXXXXXXXXX

氏 名 か と もり ゆき  
加 戸 守 行

昭和 9 年 9 月 1 8 日生

令和 2 年 3 月 2 1 日没

### 提案理由

加戸守行氏は、愛媛県立八幡浜高等学校を卒業後、東京大学法学部に進学し、昭和 32 年に卒業した。同年文部省に入省し、平成元年に文部省大臣官房長として退職するまで、国の文化教育行政に多大な業績を残した。

平成 11 年に県民の信望を集めて愛媛県知事に就任以降、3 期 12 年にわたり、県民の目線に立った県政改革に取り組み、自由闊達で開かれた県政運営を推進した。全国知事会をはじめとした各種団体においても活躍し、地方自治の発展のために多大な貢献をした。

特に、県民による助け合い、支え合いの輪を広げる「愛と心のネットワークづくり」を提唱し、在宅介護研修センターの整備やボランティア等への支援を通じ、福祉をはじめ環境、防災等さまざまな分野において、公助と相まった県民の共助により安心して暮らせる地域社会の実現に寄与した。平成 13 年に発生した「えひめ丸」事故においては、困難を極める状況下で粘り強く日米両政府との折衝に奔走したほか、木造の新武道館建設や県民オペラの上演等による文化・スポーツの振興をはじめ、「愛媛産には、愛がある。」をキャッチフレーズとした「愛」あるブランド製品の全国発信による農林水産業の振興、市町村

合併の推進、厳しい財政状況下での経済雇用対策など県民福祉の増進と県勢の伸展に尽力した。

さらに、本市においては、八幡浜市内の渋滞緩和や大洲地方生活圏域の活性化に寄与するために、大洲・八幡浜自動車道の工事に着手し、特に、八西地域の活性化や救急医療体制の充実に大きな成果をもたらす「名坂道路」の開通に向け力を注いだ。また、医師不足及び地域医療における課題の顕在化に対応するため、平成21年度に緊急度の高い八幡浜・大洲圏域において地域医療再生計画を策定し、市立八幡浜総合病院内の愛媛大学地域救急医療学講座地域サテライトセンター開設による救急医療提供体制の整備や医師確保対策等を推進した。

八幡浜市にゆかりの深い方で初めて愛媛県知事の重責を長く担った加戸守行氏は、八幡浜市民にとって大きな誇りであり、この功績を末永く顕彰するため、同氏を名誉市民として選定するものである。